



このため、広く皆さま方に、森林整備の重要性や木材利用の意義などに理解と関心を深めて頂くことが大切です。

そのためにも、国民全体で森林を守り育てる運動として発展できますよう、ご理解ご協力をお願いします。

「緑の募金」活動は、『植える緑化』から『使う緑化へ』をスローガンに展開しています。

きれいな空気、おいしい水、心身の癒し、地球温暖化防止など、森林は私たちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。この活動は、国民運動として一層の進展を期待されています。

春の陽射しがまぶしく、穏やかな天候に恵まれた四月一六日(日)、「春の募金強化月間」(三月一日～五月三十一日)の一環として、高知市で「街頭募金」活動を実施しました。

当日、出発式に引き続き、募金活動を含めて、野津山局長、技術普及課職員も参加しました。(写真)

植える緑化から 使う緑化へ

春の「緑の募金活動」

誌上 森林環境教育

自然観察の指導方法

指導者に求められるもの

自然観察の指導者は、自然や歴史、そして自然と人間との関わりを常に調査・研究し、その過程や結果を分かり易く参加者に助言・指導しなければならない。

分野は広くもつ

森林という環境では、森林を支えている土壌や生い茂る植物、この植物を食物や住みかとして利用している虫や鳥、そして、これらの生き物の相互関係、さらには森林内外の気温や湿度などの微気象などを総合的に観察することで森林という環境の概略を理解させることが出来る。

原体験を数多くもつ

自然現象は多様であり、しかも常に移り変わっている。本に書いてあること、人に聞いた話などは、ある地域のある時期の自然現象の一片であることが少なくない。自分の目や手で実際に確かめることが必要である。

経験は最大の武器

経験豊富な指導者は、数多くの観察ポイントを見つけ出し、言葉のやりとり、参加者の気持ちの引き出し方など、そのテクニックは経験を積むほど円熟味を増す。

(森林インストラクター入門 監修林野庁
全国林業改良普及協会)



「ネムノキ」って (マメ科)

イラン、インドから東南アジアを経て、日本の東北地方北部まで自生。山地や斜面下部、河原などのような土壌の溜まる場所や二次林、原野、川岸に生える。(写真)



落葉高木。根はゴボウ根で、太い直根が地中深く伸び、地表面近くには吸収根は殆どない。葉は大型の2回羽状複葉は互生し、小葉は包丁形で先は尖り、夜になると睡眠運動で小葉は閉じる。枝先に頭状花序を総状につける。長く伸びた糸状のものは雄しべで果実は細長く扁平な豆果となる。用途は、建築や家具の一部、器具などに用いられる。樹皮や種子は、民間で打撲傷などの痛み止めに用いる。

(高知県有用植物ガイドブックより)

編集後記

風かおるこの頃、着衣も薄手に。
朝夕の温度差には留意。
季節と上手くつきあい 体調管理を。